

ステンレスながら驚く軽さ！

超軽量
ステンレス複合板『サスライト』が話題

(株) 内田化工



ショッピングセンターでのサスライト施工例（鏡面加工）

(株)内田化工（茨城県小美玉市堅倉一五八〇―九、**☎**〇二九九―四八―一一〇）は、九月五日・六日に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」で、超軽量ステンレス複合板「サスライト」を紹介し、好評を博した。

「サスライト」は、プラスチックシートと金属との貼り合わせを連続ラインで

状となっていることから水分の浸透がなく、つぶれにくく、痩せることもなく、高剛性を維持する。

わけて製造されたサスライトは、厚さ4mmの製品比重が1・03というステンレスでは考えられない軽さとなっている。また、ステンレスはアルミニウムと比べて約3倍の弾性率を有していることから、様々な金属加工に必要な伸び（高塑性）と高剛性を兼ね備えるなど様々なメリットを有している。

厚さ3mm板・3×6(914mm×1820mm)で
1枚6kgと軽量で施工が速い

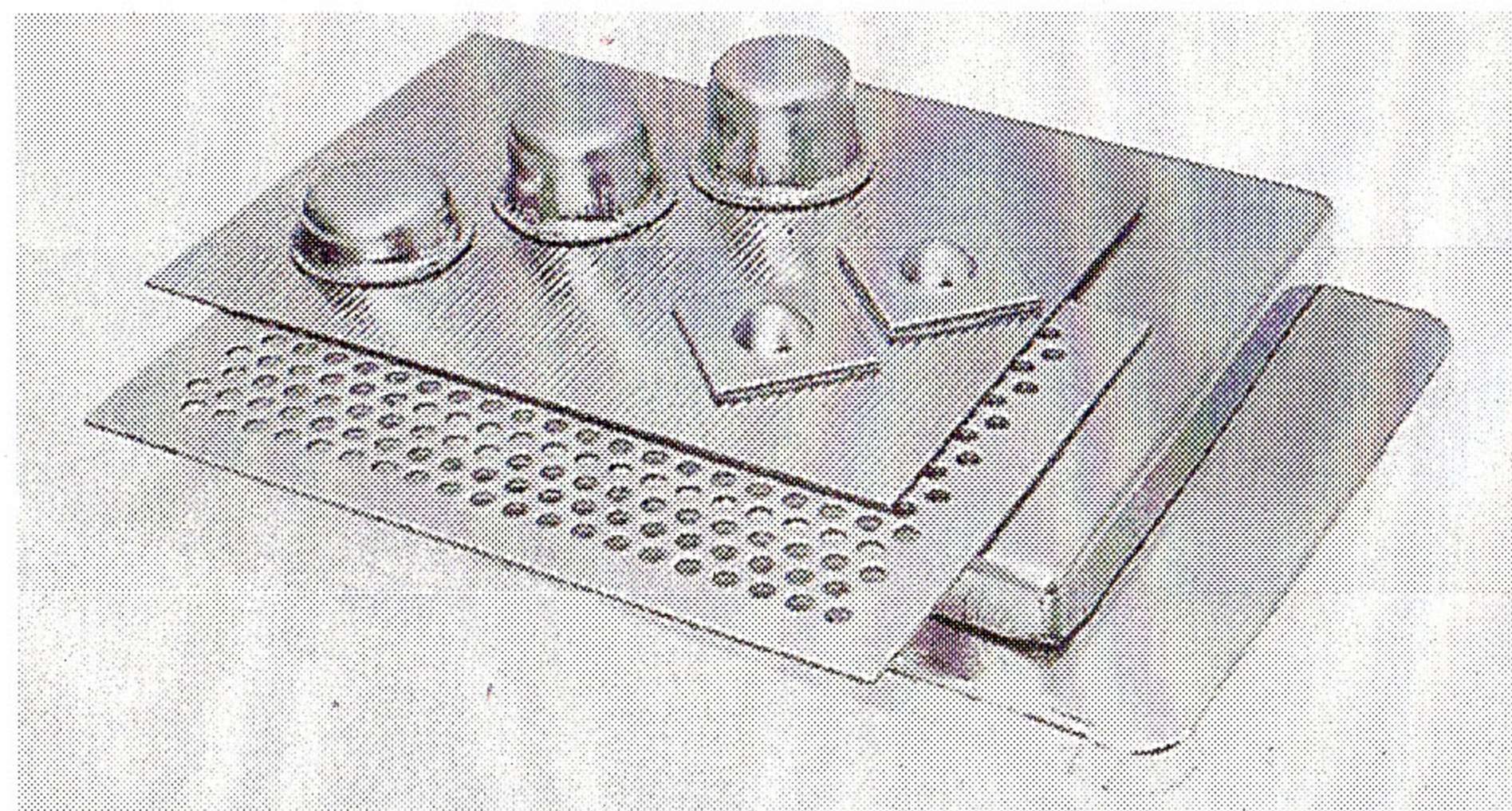
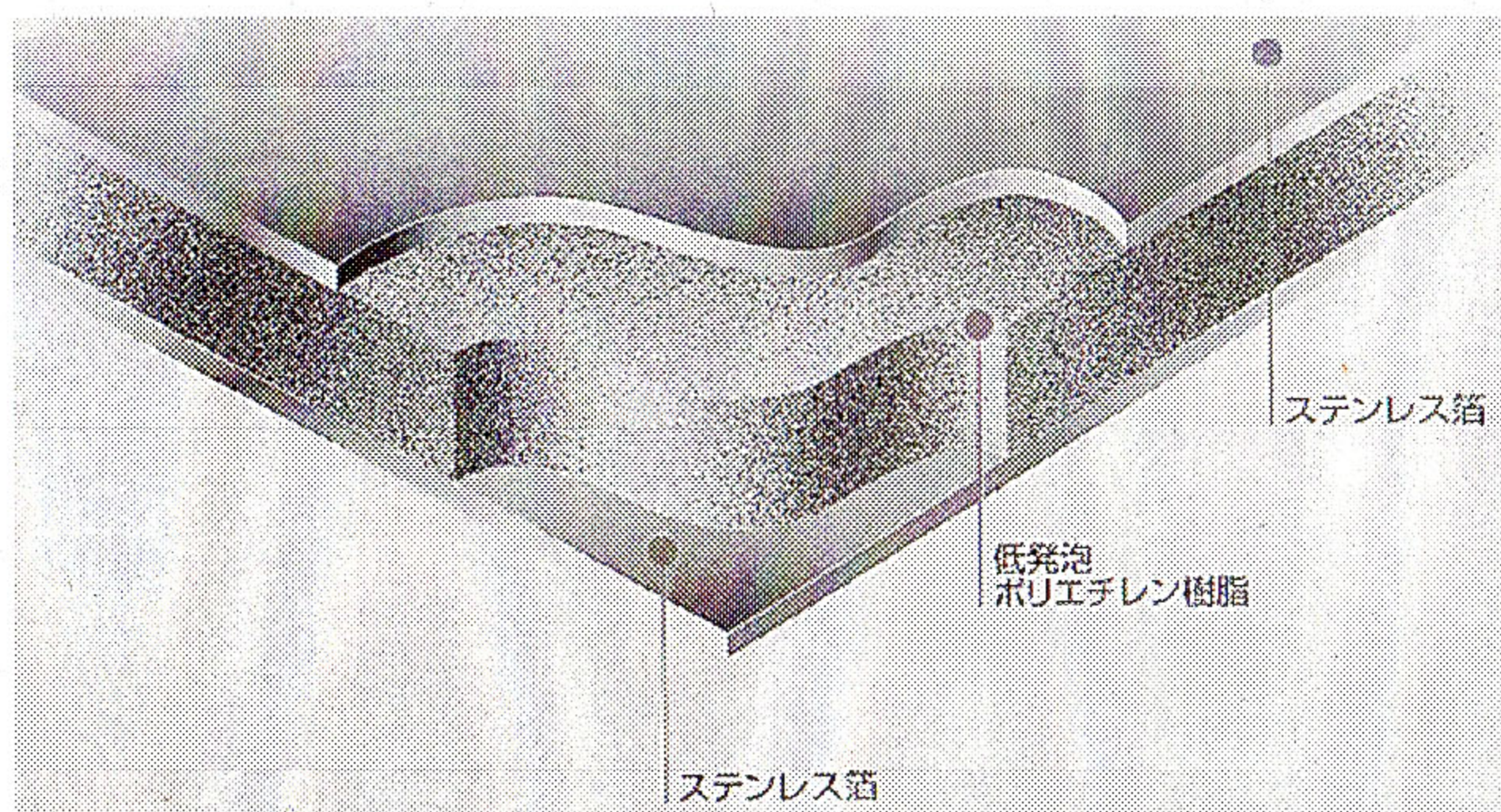
超軽量で加工性に優れるサスライトは、室内外のインテリアを中心に、様々な用途で活躍。クリーンルーム内壁天井材やエレベーター内壁鏡、大型ウイング車内壁、店舗装飾、浴室鏡などに採用されている。

18―8ステンレスと称されるSUS―304が利用されている。

こうした機能により、表面材のステンレスは、①鏡面仕上げ②ヘアライン仕上げ③バイブレーション仕上げ④エッチング加工⑤エ

低発泡ポリエチレン樹脂とSUS―304を組み合

上げたことからも伺える。



サスライトの構造図（図①）⑤とサスライトの加工例⑤